

【本川開催】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.5 開催)

テーマ1 10年後のまちと私のありたい姿

【全般】

- ・伝統や行事を大切にしているまち
- ・いろいろな世代の人がいる
- ・10年後もここに住んでいることを誇りに思えるまち(自分が好きなままでいられるか)
- ・行政サービスが今以上に向上しているまち(理由:人口が少ない、地域から切り捨てられないか不安がある)

【子どもが帰ってくるまち】

- ・子育て世帯が増え、にぎわっているまち(理由:地域全体が活性化する)
- ・巣立った子供が帰ってくるまち(U ターン、子どもはきっとマチの良さを知って巣立つ。帰れるマチは幸せ)
- ・子どもや孫が友達を連れて帰ってきやすい場所
- ・子どもたちの教育に力を入れているまち(理由:将来を担う子供たちへの教育はかなり重要)
- ・子どもが大きくなっても本川を中心に動いているまち。高校進学等で若い世代が本川を出ていくことがないようになればいい

【交流するまち】

- ・山間部と旧伊野町などの間に人の交流、循環があるようになっていること
- ・各地域が繋がれるマチ
- ・人と人が仲良くしているまち(交流)
- ・本川地域のことを意識してくれている人が普通にいること

【働き続けられるまち】

- ・今ある様々な点の宝物が繋がっていること
- ・例えば、UFO ラインなどの観光地がその麓の人たちの働く場につながるような経営戦略が描かれたまちづくりになること
- ・山間部も含めて、働く場を意図的に配置して交通手段など含めて人が行き来できるようになっていること

【住みやすいまち】

- ・集える場所があるまち
- ・山や畑が荒れていない暮らしのある本川
- ・スーパー、ガソリンスタンド等の店がある
- ・高齢者でも出かけた時に出かけられるマチに(移動する→健康であり続けられる)

【本川開催】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.5 開催)

- ・車がなくても買い物できる状態
- ・ひとり暮らしの高齢者が不自由なく暮らせるまち(医療、福祉、食事・買い物、交通の便)

【本川開催】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.5 開催)

テーマ2 10年後のありたい姿への道すじ

【地域振興】

- ・登山、釣りなどで本川を売りにした戦略(学校の特色に取り入れる、町のイベント)
- ・吉野川流域との連携(嶺北地域)
- ・未来コンビニ
- ・都会の企業等にテレワークで本川でできる仕事はないか尋ねて、仕事を引っ張ってくる
- ・本川版ウーバーイーツ
- ・畑仕事などをしてくれる人を募集する。期間を決めての手伝いを含む
- ・交流人口を増やす
- ・若者定住に向けて西条市とのコラボ(仕事・人)
- ・見た目が美しい場所。国道沿いの道が荒れてない。
- ・UFO ライン、入場料いただく

【住民福祉】

- ・移動方法→自動運転
- ・ガソリンスタンドは電気自動車の充電もできるようにする
- ・ドローンを使った物品の配達

【教育・文化】

- ・子ども達に地域の良さも課題も実感できる体験を充実し、地域が好きになり何かしたいという気持ちを育てる
- ・みのを作る。SDGs にのっかって自然の暮らしをしたい人を探す。失くしたらもったいない民芸品
- ・自分たちも受け入れる

【本川開催】いの町の未来を考える会 参加者の考え(2023.10.5 開催)

テーマ3 10年後に向けた私たちのアクション

- ・本川に定住。10年後も
- ・地域の担い手を育てる
- ・子ども達に地域の良さも課題も実感できる体験を充実し、地域を好きになってもらい、何かしたいという生翫を育てる
- ・学校と地域の人とのつながりを再構築する
- ・高校を含めた教育環境の充実
- ・住民と行政のパイプ役
- ・地域おこし協力隊員卒業後のコーディネート役
- ・国道沿いの桜の手入れをやってます
- ・子や孫が帰ってきて遊べる家のまわりの手入れ
- ・山登りや木登り、川遊び等子どもを連れて遊ぶこと
- ・もうこれ以上何か仕組み、メンバーには参加できないかも。今日ここにいる人はいろいろやりすぎ。
- ・住み続ける。ダメなら定期的に帰ってくる
- ・起業
- ・消防団など地元で協力
- ・健康でいる
- ・行事に参加する
- ・働きつづける(つなげる、呼び込む)